

身体の負担や車椅子の利用などに配慮した平面計画を行うことが重要です。

テーブル間の通路幅について

テーブル間は余裕をもった通路幅が必要です。

車椅子による移動や、もし通路内でお年寄りが転倒された場合でも助けやすいように、通路幅に余裕をもった寸法と配置を行います。

テーブルの配置(凡例)

テーブル間は最低でも1800mm、車椅子が通行する場合は最低でも2000mm以上は必要です。

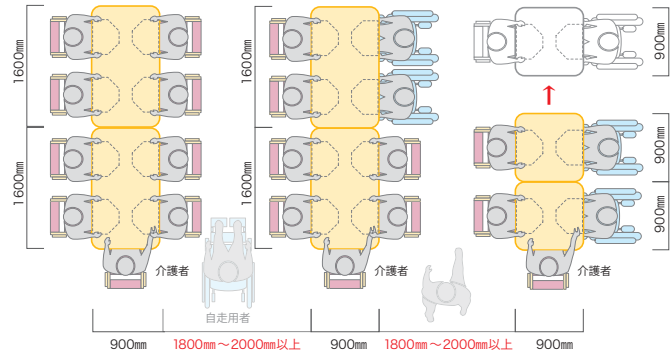
■テーブル間の通路幅の目安



杖をついて歩く 車椅子で移動する 介助しながら歩く

狭い ← 通路幅 → 広い

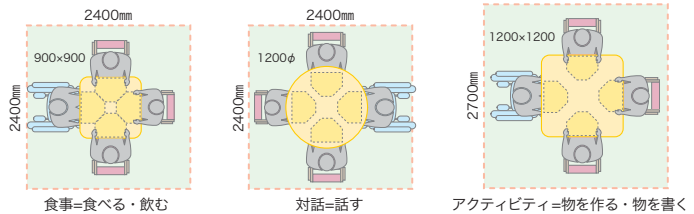
900mm 1800mm



テーブルの形や大きさは目的に応じて選びます。

食事、対話、アクティビティなど、その空間で行う目的に応じてテーブルの形と大きさを選ぶことが大切です。

■4人席での必要面積の目安

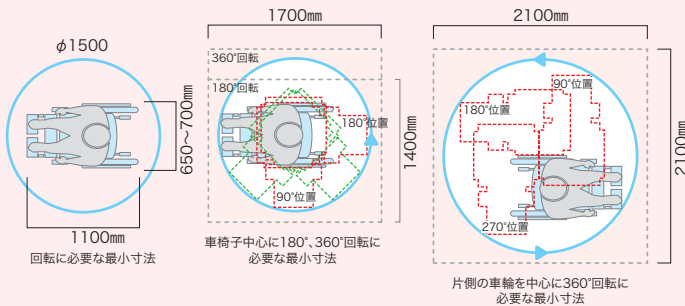


廊下の通路幅について

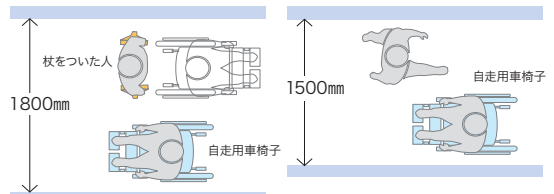
車椅子と歩行者がスムーズにすれ違える通路幅を確保します。

歩行者同士がすれ違うだけでなく、車椅子と歩行者がすれ違うときを考えて、余裕のある通路幅が必要です。

[参考]車椅子の回転に必要な最小寸法

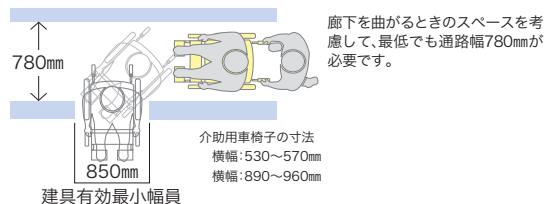


廊下の通路幅の目安



車椅子と歩行者がスムーズにすれ違うために、通路幅1500mmは確保したいものです。また、杖をついた歩行者とすれ違うことを考慮した場合は、通路幅は1800mmが必要です。※いずれも廊下の壁に手すりなどがあれば、その内側からの寸法となります。

介助用車椅子の最小通路寸法



- 情報化対応家具
- 事務用デスク
- 事務用チェア・輸入チェア
- ローテーブル
- 収納家具・ファイリング用品
- 書庫・キャビネット
- ロッカー
- 金庫
- 防災・地震対策用品
- セキュリティ用品
- 会議用テーブル
- 会議用チェア
- アメニティ・リフレッシュ用家具
- プレゼンテーション機器・黒板
- 役員室用家具
- 応接セット
- ロビーチェア
- カウンター
- オフィス・ロビー用品
- オフィス周辺什器
- レセプション用家具
- 間仕切り
- 移動ラック・シールビング
- ラック・工場備品
- 高齢者福祉施設・病院用家具
- 学校用家具
- 店舗用家具